

ファカルティ・ディベロッパーの 認定証交付式が行われました。



2017年1月11日（水）、学長室にてファカルティ・ディベロッパー（FDer）※1の認定証交付式が行われ、松尾敬二 教授、藤岡寛之 教授、徳安達士 教授の3名※2に、下村学長より認定証が授与されました。

本学は「AL 型授業推進プログラム」（H26年度文科省大学教育再生加速プログラム（テーマI：AL）選定事業）として、本学の人材育成目標「自律的に考え、行動し、様々な分野で創造性を発揮できるような人材（実践型人材）の育成」を達成するため、本学の教育改革のフレームに「教授方法の質的転換」を加え、その具体的方策としてアクティブ・ラーニング（AL）の全学展開を推進しています。その一環として、今年度より FDer を養成することとし、この度、初めて3名が認定を受けました。

交付式では、下村学長より、3名の FDer への推薦理由についてお話があった後、今後さらに AL の全学展開をリードし、本学の「教授法の質的転換」を図ることへの期待が伝えられました。

※1 「ファカルティ・ディベロッパー（FDer）」とは：本学における FDer は、特に AL 型授業の展開に主眼を置いた取り組みを当面の活動テーマとし、個々の教員の教育活動を改善・向上させ、集合体としての組織的教育力を高める役割を担うものと定義する。

※2 今年度認定者（3名）について

松尾敬二 教授（H27年4月～現在 教育技術開発 WG 長）

藤岡寛之 教授（H28年4月～現在 教育技術開発 WG メンバー）

徳安達士 教授（H26年9月発足時～H28年3月 教育技術開発 WG メンバー）

掲示期間 H-28-273
1月26日～2月10日

この件のお問い合わせは広報課